

### 日蓮遺文と偽作の文体差に関する計量分析

統計数理研究所 村上 征勝  
 東京大学 海洋研究所 岸野 洋久  
 群馬大学 教育学部 古瀬 順一

#### 1. 目的

鎌倉時代の宗教家日蓮（1222-1282）の著作は数百編残存しているが、これらの中には日蓮の著作かどうか疑問がもたれている文献や、明らかに偽作と考えられる文献が数多く存在する。著者達は、従来の文献学的方法では解決が難しいと思われる、表1の5編の文献の真偽判定を、文体の計量分析によって行なうことを試みている。真偽判定を行なうには、まず第一に日蓮の文体の特徴を把握する必要がある。そこで日蓮遺文と偽作の文体を計量的な観点から比較し、日蓮の文体の特徴抽出を試みた。

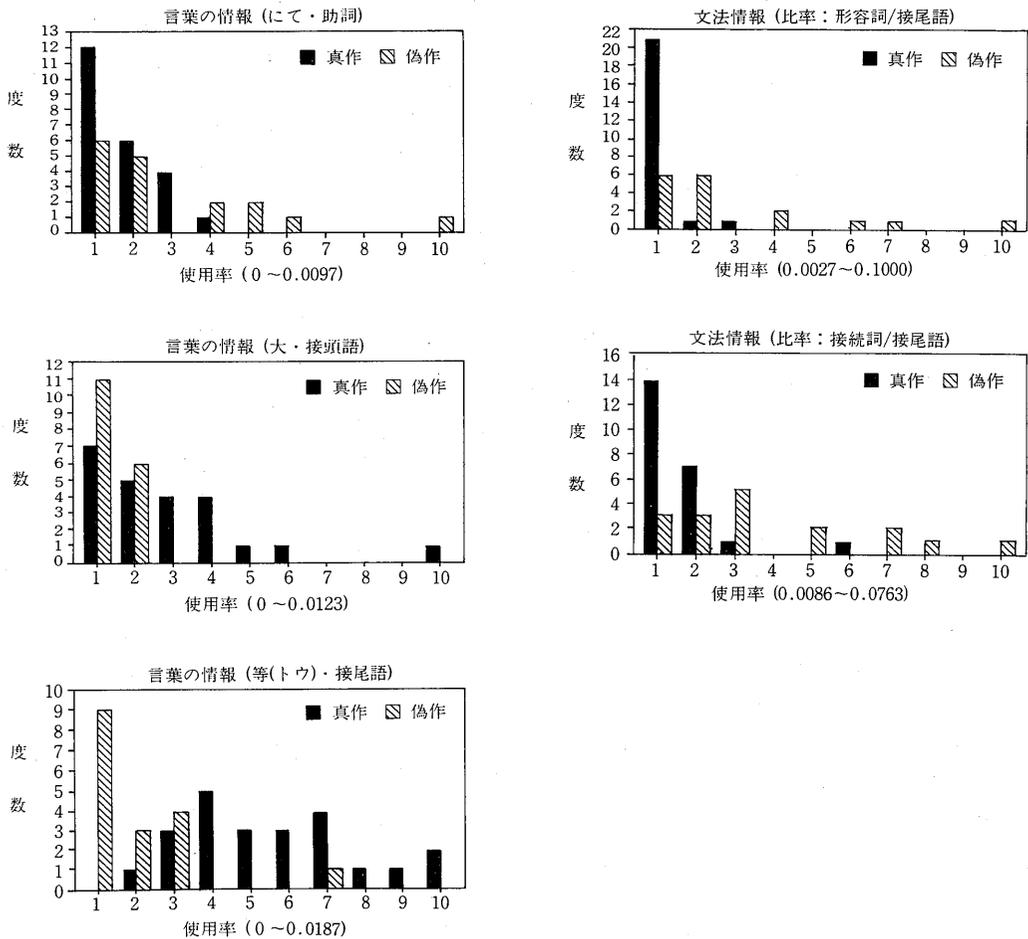


図1.

表 1. 真偽未決.

文 献 名	執筆年	語数
三大秘法稟承事	1281	1280
聖愚問答鈔	1265	13439
生死一大事血脈鈔	1272	893
諸方實相鈔	1273	1665
日女御前御返事	1277	2441

表 2.

日 蓮 著 作			偽 作		
文 献 名	執筆年	語数	文 献 名	執筆年	語数
二乗作佛の事	1260	2570	持妙法華問答鈔	1263	3578
唱法華題目鈔	1260	8078	十八圓滿鈔	1280	2714
顯謗法鈔	1262	8487	法華本門宗要鈔	1282	7078
藥王品得意鈔	1265	2363	臨終の一心三觀	?	753
善無畏鈔	1266	2023	十王讚歎鈔	1254	8566
眞言天台勝劣の事	1270	2236	眞言見聞	1272	3841
十章鈔	1271	1362	觀心本尊得意鈔	1275	619
如說修行鈔	1273	2064	當體蓮華鈔	1280	2622
阿責謗法滅罪鈔	1273	3444	法華大綱鈔	1266	3331
木繪二像開眼の事	1273	1159	問答鈔	1254	3439
法蓮鈔	1275	7317	一念三千法門	1258	2369
本尊問答鈔	1278	4251	早勝問答	1271	3126
諸經と法華經と難易の事	1280	761	万光授職灌頂下	1274	1078
諫曉八幡鈔	1280	6369	成佛法華肝心口傳身造鈔	1275	2070
富城入道殿御返事	1281	1038	本寺參詣鈔	1282	959
曾谷二郎入道殿御返事	1281	1872	讀誦法華用心鈔	1282	2602
如来滅後五百歲始勸心本尊鈔	1273	7894	萬方一如鈔	?	6112
顯佛未來記	1273	1971			
法華取要鈔	1275	3512			
曾谷入道殿許御事	1275	6864			
太田入道殿御返事	1275	1524			
始聞佛乘義	1278	1013			
妙一尼御返事	1280	2096			

## 2. テキスト、文献および統計量

テキストは浅井要麟 編「昭和新修日蓮聖人遺文全集」(平楽寺書店)を使用した。分析には、日蓮著作 23 編、偽作 17 編を用いた(表 2)。

文章はすべて“分かち書き(単語分割)”して入力し、各単語には普通名詞、固有名詞、形式名詞、代名詞、数詞、動詞、形容動詞、助詞、接頭語、接尾語、形容詞、感動詞、助動詞、連体詞、副詞、接統語のいずれに属するかの情報を付加した。この入力データから、各文献における一万数千種の単語の出現率、品詞の出現率、平均文長、平均単語長、延べ語数に対する異なり語数の割合などの数百種の統計量を求めた。

## 3. 日蓮遺文と偽作の文体差

単一の統計量で、日蓮の著作と偽作を明確に区別できるものは現在まで見つかっていない。日蓮の著作と偽作の違いが比較的現れていると思われる統計量に関して、その分布を図 1 に示す。

なお、分析に用いた文献には和漢混淆体と漢文体の 2 種類の文献がある。同一人物の文献においても品詞の出現率、平均文長等の文の構造に関する統計量は、漢文の混合率の影響を受けることが判明したので、文の構造に関する統計量を比較する際には、漢文比率による修正を施した。